

## 選挙：静岡県知事選 浜岡原発再稼働、県民投票が争点に 川勝氏「再選なら条例」

毎日新聞 2013年04月23日 東京朝刊

静岡県の川勝平太知事（64）は22日の定例記者会見で、知事選（6月16日投開票）で再選された場合、中部電力浜岡原発（同県御前崎市）の再稼働の是非を、県民投票の結果を受けて判断する意向を示した。自民党県連が推薦する元多摩大教授、広瀬一郎氏（57）は県民投票には否定的で、知事選の争点に浮上しそうだ。

中部電は、新規規制基準で義務付けられた排気装置の設置が終わる15年春以降の再稼働を目指している。再稼働について、川勝氏はこれまで、使用済み核燃料の処理問題などが解決されない限り反対する姿勢を示している。広瀬氏は「専門家の意見を尊重すべきだ」との立場だ。

川勝氏はこの日、再選出馬を正式表明。再稼働を巡り「住民の判断をあおぐ必要がある」と話し、前提となる「県民投票条例」の制定に取り組む考えを明らかにした。一方、広瀬氏は同日、「一般の方に（判断を）投げてしまうのはいかなものか」と述べ、なじまないとの認識を示した。

川勝氏は昨年9月、市民団体からの直接請求により県議会に提案した住民投票条例案に賛成意見を付けたが、過半数を占める自民系会派などの反対で否決されていた。

同知事選を巡っては、共産党も候補擁立を目指している。【樋口淳也】